

「焦る気持ちに一呼吸 ゆとりを持って安全運転」 H25年度最優秀交通安全標語

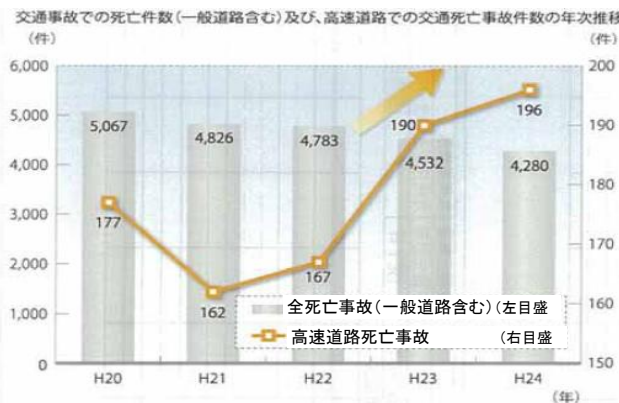
### 1. あいさつ

昨年10月ある芸能人が高速道で事故を起こし、自動車の外に出たところを後続車にはねられるという悲惨な事故がありました。高速道の緊急時の3原則は ①路上に立たない ②車内に残らない ③安全な場所に避難するということです。特に中国自動車道の事故地点は下りとカーブが多く事故多発地点になっています。トンネル内部以外の場所としては車線変更禁止という極めて珍しい箇所指定されました。(別紙PDF)

### 2. 安全運転のポイント

#### 高速道路での緊急時の対処法

#### ■近年、高速道路上での「人対車」の事故が増えている



警視庁によると、高速道路で平成24年の一年間に発生した死亡事故196件中、故障や事故のため高速道路上で車を降りた後に路肩等で後続車にひかれ、41人がなくなっています。

また、「三角形の停止表示機材を車に積んでいるか」の調査では回答者7,790人のうち、半数を超える4,401人(56.5%)が不携帯でした。性別では、女性の7割以上(888人/1,991人)が車に備えていないことが判明しました。

#### ■高速道路上で停車する際にドライバーがすべきことは？

何よりも重要なのは**自分の安全確保と後続車への周知(二次事故の防止)**です。

●ハザードランプを点灯し、出来るだけ路肩に寄せましょう。橋やトンネルなど、路肩がない狭い場合は、可能な限り広い所まで自走します。

●発煙筒、停止表示器材を車両後方に置きましょう。

まず、同乗者を避難させます。

降車は、車両が通行しない側から(路肩に駐車した場合は助手席から)その後、発煙筒と停止表示器材を50m以上後方に置きます。

\* 見通しが悪い場合はさらに後方に

\* 燃料漏れの恐れがある場合、発煙筒は使いません

●ガードレールの外側などに避難しましょう。

ガードレールの外側に避難します。

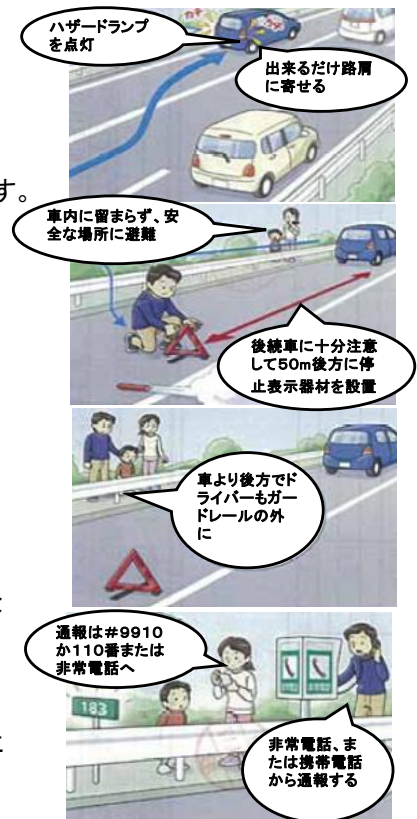
橋や高架などで外側への避難が出来ない場合、車から離れてガードレールに身を寄せます、\* 万が一停止車両への追突事故が発生した際に巻き添えにならないよう、車の後方へ避難します。

●非常電話か携帯電話で救援依頼しましょう

★非常電話機

高速道路上には、1kmおきに非常電話が設置され、受話器を上げると自動的につながります。

\* JAFへの救援依頼もできます。



\* IC、SA・PA、バス停、非常駐車帯、トンネル内にも設置され、トンネル内の設置間隔は約200m

★携帯電話 **#9910(道路緊急ダイヤル)**

場所が特定できるよう、路肩にあるキロポストの数字を伝えましょう。

\* 故障の場合は**#8139(JAF)**へ

事故や故障などでやむを得ず停車する際には、落ち着いて行動し安全確保に努めましょう。

高速道路における事故の約7割は追突事故が占めます。高速走行中の車が前方を見落としたら……

路肩駐車中であっても大惨事につながりかねません

緊急時は出来るだけ安全な場所に停車し、自身も安全な場所へ避難してから電話をかけて下さい。

### ■高速道路上での交通事故の例



普通自動車は何らかの理由により中央分離帯に衝突後、横転、更に後ろから走行してきた普通乗用車にも追突され、後部座席に乗っていた同乗者が死亡。



交通量が少ない高速道路で、単独交通事故を起こした運転手が、車内に留まり、110番通報している最中に後続車に追突された事故。事故発生当時、三角停止表示板などの停止表示器材の表示はなし。

### ■三角停止表示板と発炎筒



ケースから取り出して展開した状態



- ①三角停止表示板は車に常備されてないので、あらかじめ買って下さい。
- ②発炎筒は常備されていますが、先ず有る場所を覚え、使い方も知って下さい。尚、発炎筒には有効期限があり、期限を過ぎると炎が小さくなり、被視認性が落ちることもあります。



### ■もしも一般道で故障したら

車が故障した場合、他の車の通行の妨げにならない安全な場所に移動しましょう。やむを得ず路上に車を止める場合、ハザードランプ点滅、停止表示材などを後方の車を確認できる場所に置き、トランクを開けて駐車していることを後方の車に知らせます。そして、道路外の安全な場所に待機し、JAFなどに救援を依頼しましょう。

冬道は 急ぐな せかすな あわてるな スピード落として スリップ回避 今月のスローガン